



かつおのビンタ料理で 転入教職員を歓迎

■4月20日、枕崎小学校PTA主催の転入教職員歓迎会が市内飲食店で開催されました。転入してきた2名の先生は、恒例のかつおのビンタ料理を豪快に食べていました。



市内の小中学校で入学式

■4月8日、市内各小中学校で入学式が行われました。立神小学校では、新1年生32人が元気入学し、これから始まる小学生生活に期待をふくらませていました。



さわやかな香りの中、 茶摘みを体験

■4月23日、別府中学校の全校生徒59名が農研機構果樹茶業研究部門で茶摘み体験を行いました。生徒たちは、茶葉の「一芯三葉」を丁寧に摘み取り、約28kgを収穫しました。



火之神一帯を ボランティア清掃

■3月30日、まくらざきハーモニーネットワーク委員会の会員ら約40名が火之神公園一帯のボランティア清掃を行いました。今年は2020年度の国体開催に向けて、「花いっぱい運動」の一環として、花植えも行いました。



海上特攻から74年、平和への願い ～海上特攻第二艦隊戦没者追悼

戦艦大和をはじめとする第二艦隊海上特攻から4月7日で74年が経ちました。当日は、平和祈念展望台奉賛会により献花用の菊が準備され、展望台のイメージソング「千の蜻蛉」が流れる中、全国から生存者や遺族など約200名が参拝に訪れました。

大和が沈没した午後2時過ぎには、参拝者が哀悼の意を込め、黙とうを捧げました。

愛知県から訪れ、父親が巡洋艦「矢矧」の軍医長だったという遺族の渡辺俊也さんは「この場所は父のお墓のような場所。いつまでもこの場所の風に吹かれていたい」と話しました。



親子で田植えを体験 ～枕崎の食を考える会が田植え体験を実施

4月6日、枕崎の食を考える会(山崎巳代治会長)主催による田植え体験が松下集落の田んぼで開催され、市内保育園の園児や保護者などが参加しました。

この田植え体験は、子どもたちに命を育てる楽しみと命をいただく喜びを感じてもらうことを目的に実施されているものです。4月上旬の開催だったため、田んぼの水はまだ冷たかったのですが、園児たちは裸足で田んぼに入り、一生懸命、稲を植えました。

上木原愛華ちゃん(まくらざき保育園)は「初めてやってみて楽しかった。またやってみたい」と話してくれました。

カツオのように強く元気になってね ～新1年生がかつおのぼりを掲揚

4月18日、枕崎小学校の新1年生24名が市役所正面玄関前にかつおのぼりを掲揚しました。

このイベントは、カツオの元気さと縁起の良さにあやかり、枕崎の水産業の振興を祈願し、かつおまつりを盛り上げるとともに子どもたちの健やかな成長を願って平成11年から毎年行われています。

児童は「このぼりの歌」の替え歌「かつおのぼりの歌」を元気に歌いながらロープを引っ張り、大小11匹のかつおのぼりを掲揚しました。

和田菜那さんは「かつおのぼりの歌も上手に歌えて楽しかったです。小学校では、昼休みに友達と遊具で遊ぶのが楽しみです」と話してくれました。



100歳おめでとうございます ～大園エダさん(田布川町)

大園エダさんが4月20日、めでたく100歳の誕生日を迎え、22日に市と社会福祉協議会から花束と祝い金が贈られました。

大園さんは、枕崎で生まれ育ち、若い頃は農業をしていました。娘2人に恵まれ、野菜を作ることが趣味だという大園さんは、92歳くらいまで畑で作った野菜を子どもたちに送っていたそうです。

長寿の秘訣は「好奇心旺盛であること」と話します。これからも元気で長生きしてください。



火の神乙女太鼓爽が全国大会で躍動 ～第21回日本太鼓ジュニアコンクール

第21回日本太鼓ジュニアコンクール(全国大会)が3月24日、福島県郡山市で開催され「火の神乙女太鼓 爽」が鹿児島県代表として出場しました。今回は残念ながら賞を取ることはできませんでしたが、メンバーは全国の舞台上で持てる力を出し切り、悔いの残らない演奏をすることができました。

今年度新リーダーの竹内楓さんは「全力で楽しく」を頭の中に置いて、最高の演奏をすることができました。たくさんの応援ありがとうございました」と話しました。



100歳おめでとうございます ～松尾ナエさん(高見町)

松尾ナエさんが4月10日、めでたく100歳の誕生日を迎え、同日、市と社会福祉協議会から花束と祝い金が贈られました。

松尾さんは、枕崎で生まれ育ち、若い頃は鹿児島市内で母親が経営していたお店の手伝いをしていました。趣味はカラオケで、以前は市民会館であるカラオケによく通っていたそうです。

長寿の秘訣は「早寝早起きをして、何でもよく食べる」と話します。

これからも元気で長生きしてください。